

展覧会のテーマが

決まりました

今年度の展覧会テーマは、「七小虹色ひみつきち」に決まりました。6年生の実行委員が、6年生が考えたキーワードを基に考え、全校からアンケートをとって決めました。「いつもの普通な七小をみんなの想像力で今年の秋一度だけ見付けることのできる虹色のひみつきちにしませんか?」という思いが込められています。このテーマのもと、展覧会のいろいろなことが決まっています。

一年生

「パクパク」では、折った画用紙



に切り込みを入れて、開けたり閉じたりするとパクパクする動きから何を描くか考えました。ひよこや河童などの動物だけでなく、カメラやポットなども思い付く子もいました。油ねんどで、自分の飼いたい動物をつくりました。本当に飼うわけではないので、サメなどもつくることができました。今回は手足をひねり出してつくる方法に挑戦しました。



五年生

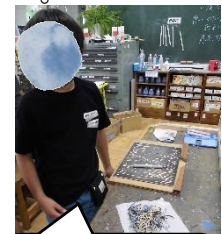
前回の1組に続いて、二組も

外でスケッチすることができました。とても風が強い日だったので、絵に砂が付くこともありましたが、あえて砂を付けて校庭の感じを表す子もいました。また、落ちていた葉に絵の具を付けてスタンプするなど、やわらかな発想もできました。いわゆるうまい絵を目指すのではなく、素直な気持ちで目の前のものをよく見て、自分で自分



をしばらずにそのまま描いてほしいと思います。

彫って出た木くずがたくさん集まっています。



彫って出た木くずがたくさん集まっています。

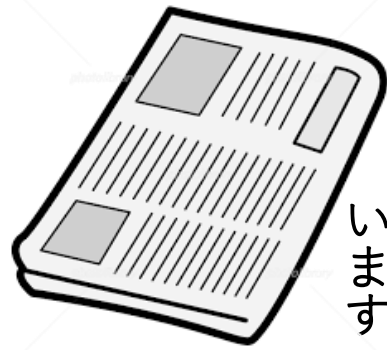
四年生

初めての彫刻刀に取り組

んでいます。彫刻刀は、使い方を間違えればとても危険な道具ですが、板を彫る時の指先や全身の力の使い方や、板を彫る感触の心地よさを味わう経験はとても大切なので、安全に気を付けながら指導しています。今年、「100万年に一度だけ咲く花」をテーマに、木版画に取り組んでいます。見たことのないユニークな花が、見ていて楽しいです。刷る時は、二色のグラデーションに挑戦しています。



新聞紙を集めています



不足しています。ご協力よろしくお願いたします。伊藤まで届けてください。



とです。もちろん一作品をじっくり取り組むことも大切です。

六年生

「アートの声を聞いて」では、



アートの声を聞いて、アートの声を聞いて印刷された絵画作品から感じたことをもとに、テーマを自分で思い付き、描いています。前回の「空色実験室」で気付いた色使いの工夫がよくできています。六年生のすごいところは、一作品で「これくらいいいや」とならず二・三作品描くことです。もちろん一作品をじっくり取り組むことも大切です。